

わかやま母親通信

第53号 2017年4月22日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール：w_haharen@wkn.or.jp

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第62回和歌山県母親大会in紀の川市 全体会の記念講演は……

「幸せに生きたい 平和に暮らしたい」の願いを実現するために
～ストップ！ 貧困拡大社会～ **講師：宇都宮 健児 氏**

いよいよ第62回県母親大会（5/21・日 貴志川中学校/貴志川生涯学習センター）が近づいてまいりました。現地の準備も着々と進んでいます。

さあ、県下各地から、みんな、つれもてきてな～

昨年(海南市で開催)の県大会の講演を覚えていますか？ 「人間が幸せになるための経済学」と題した浜矩子氏(同志社大学大学院教授)のお話でした。現政権が進めている経済政策を「ア○ノミクス」と皮肉り、国民の生活を豊かにするどころか、日本の針路を過去に引き戻そうとするところに真の狙いがあることを具体的に示してくれました。

今年は、「みんなが幸せになる」道筋を、「社会保障」の面から解き明かしていただけたと思います。昨年の日本母親大会で、宇都宮氏のお話を聴いた方の感想から、講演内容を想像してみましょう。(「わかやま母親通信」NO.48 49号からの転載です。)

*…心に残った言葉は、「命の問題を財源で語るな」です。軍事費は毎年上げているのに、社会保障費はどんどん削られていきます。【私たちは、「微力」だが「無力」ではない】という言葉にも勇気づけられました。これからも声を挙げ活動を続けていかななくてはと思いました。(伊都 母連)

*…キーワードは「選挙」です。こういう運動を、いかに選挙と言うものに結び付けられるか。宇都宮さんの人柄、話しぶりは、やはり品格があって素敵でした。この会場は、1700人も参加者だったとのことでした。(伊都 退教協)

*生活の貧困と政策の貧困が大問題。息子も多額の奨学金を返還し、孫は「保育園落ちた」状態のスレスレで高い保育料を払っています。夢や希望が持てない中で、宇都宮健児さんの、貧困問題を解決していくためのお話には胸がすく思いがしました。「人権は闘い取るもの」「選挙闘争で政治を変える」との言葉から、まだまだ私たちの闘いが未熟なんだなあと…。

主権者として勉強をすること、愚痴から智恵が生まれる。そうだ、みんなで憲法前文を読もう…等々、考えていました。『普遍的福祉』という言葉と宇都宮氏が紹介してくれたソウル市の取組みを調べてみたいです。(日高 新婦人)

分科会の魅力を紹介します Part 2

前号では、現地(那賀実行委員会)中心に企画した9つの分科会の内容を紹介しました。今回は、残る11分科会の中から、特徴的な分科会をご紹介します。

第4分科会 パネルディスカッション 話そう! 子ども・学校の“リアル”

5人のパネリストが主張を展開します。その内3人は、小・中・高校の教師、残る2人は、母親であり、様々な分野で市民運動をされている方々です。

それぞれの主張とやり取りを聴くだけでも興味深いでしょうし、参加者として話し合いに参加していただくと一層身近な問題意識になると思います。今、山積している学校現場の諸問題を出し合い、解決への道筋について考え、話し合ってみましょう。

第15分科会 特別講座 ①と②

- ①「マイナンバーって、役所に出す書類に絶対書かなくてはいけないの?」「消費税のヒミツって、何かカラクリが!?!」
- ②『『電力乗り換えませんか』って、電話がかかってくるんやけど。』—こんな疑問や不安に答え、解決方向を考えます。

第16分科会 特別講座 ③と④

- ③琉球新報記者として、沖縄の現状と人々の闘いを報道してきた島洋子氏。沖縄女性としての想いも語ります。(DVD視聴)
- ④「テロ等準備罪」って、東京オリンピックの開催に必要!?!—政権の本当のねらいは何なのか、解明してくれます。

○他の分科会も、情報満載! 魅力もいっぱい! です。

医療・介護制度…法律が改訂されるたびに内容が切り下げられてきました。いよいよ来年4月から新制度が実施となりますが、いったいどのように変わのでしょうか。食の安全・農…米国トランプ政権が誕生して、TPPは一安心?—いえいえ、あの強引さで二国間協議と称して、一層の無理難題を押し付けてくることが予想されるのでは? 原発…昨年秋に福島の被災地見学に行った方のリアルな報告です。他に、「防災」「いわさきちひろの映画」「支援を必要とする子ども」「ひきこもり」などの分科会があります。どうぞ、今の気持ちに一番合った分科会にご参加下さい。

つれもていこらよう~ 第63回日本母親大会へ

今年は、8月19~20日、岩手県盛岡市で開催されます。今回の試みとして、1日目の見学分科会は、岩手・宮城・福島3県6コースの被災地見学を計画しています。現地の方が案内し説明してくれます。この企画については、5月末までの申込みになります。早めに郡市母連を通じて申し込んで下さい。もちろん、他の分科会も充実しています。

2日目の全体会は、記念講演に、安田菜津紀氏(フォトジャーナリスト)を迎えます。きっと今までで一番若い講師ではないでしょうか。テレビ(MBSTV サンデーモーニングなど)で拝聴すると静かな優しい語り口調ですが、講演ではいったいどのようなお話をしていただけるか、大いに楽しみです。